

東京湾再生官民連携フォーラム第8回通常総会開催

東京湾再生官民連携フォーラムは、10月17日（土）10：00～11：30、webミーティングツールZOOMを利用した総会を開催した。

今年は新型コロナウイルスにより、人が集まる活動を極力避けた対応により、フォーラム活動全体もスケジュール変更を余儀なくされた。

期を同じくして、東京湾大感謝祭 2020 も通常、横浜赤レンガ倉庫広場に於ける開催をオンラインによる開催に変更するなどの措置となった。

本年の総会は、政策提案の審議議題こそないものの多くの活動報告が行われた。

令和元年度活動報告（事業・決算）及び令和2年度活動計画（事業・予算）についての報告が行われた。



▲初めての ZOOM による総会 画面を見ながらの議長による総会進行が行われた

令和元年度の主な特徴的な活動は、一般財団法人セブン-イレブン財団との基本協定が行われ、新3か年事業計画スタート（初年度）となった。

2件の政策提案、1.東京湾パブリック・アクセス方策PT「政策提案“東京湾へGO”」
2.東京湾の窓PT「未来の東京湾と人のつながりの再構築に向けた、東京湾の窓施設のネットワーク推進に関する提案」が実施された。

令和元年7月18日（木）に開催したCSR-NPO未来交流会は、「海ゴミ、プラスチックゴミ対策考」をテーマに多くに参加反響を得ることができた。令和2年度の事業計画・予算は、コロナ対応の影響もあったが、統一テーマでの活動となる「東京湾の日」制定に関する広報活動（ポスター等）、東京湾の清掃活動への参加協力、東京湾大感謝祭への協力実施などの活動報告が実施された。

また、事務局からネットを利用した情報公開、動画公開、social networking service, SNSに

よるコミュニケーションが図られている現状に対応して、「東京湾再生官民連携フォーラムの諸活動における通信媒体を用いるときのルールとマナーの制定について」の報告が行われた。

各プロジェクトチームでは、生き物生息場づくりPT活動報告を皮切りに、指標活用PT、モニタリング推進PTでは、「オンライン東京湾大感謝祭2020」に掲載している動画のプレゼンを交えて、発表が行われた。東京湾大感謝祭PTは、当日のライブ配信、イベントサイトの充実ができた。初めてのオンライン開催のため、参加企業を募るには、実行委員会事務局の苦勞が多かった点に言及した。江戸前ブランド育成PTでは、メンバーの多様な活動が紹介された。今年はコロナ対応のこともありPT活動そのものが会議等に影響が及びWEBミーティングを行いながらの活動推進となった。